

明けましておめでとうございます

今年のお正月も、ご自宅でゆっくり過ごせた利用者様がほとんどであったと思います。今年も、住み慣れたお家で家族と一緒に過ごせる日が長く続くよう、できる限りのことをさせていただきますので、宜しくお願い致します。

また、これからが寒さの本番です。介護者の方が風邪などひかれないよう、お過ごしください。

いきいき

NO.30 平成31年1月 だより

あわら複合ケアサービス

TEL 0776-77-2282

あわら市二面2丁目 302 番地



クリスマス会をしました

一人ひとりプレゼントをもらい、ロールケーキもいただきました



つるされた新聞紙の風船を割ると... 中からプレゼントが！！



生クリームとフルーツを好きなだけトッピング！！

山盛りになった方もいらっしゃいました（^^）

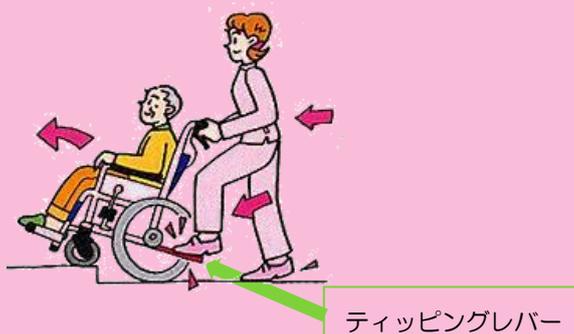




段差での車椅子の走行

《上りの場合》

1. 被介護者に段差を越えることを伝えます。
2. 段差に対し、車椅子を正面に真っ直ぐ向けます。
3. 介護者はグリップを下に押し下げながら、ティッピングレバーに片足を掛け踏み込みます。
※この時、前輪が中に浮いた状態になりますので、バランスを崩さない様に気を付けます。
4. 前輪が浮いた状態で前進し、前輪を段差の上にゆっくりと下ろします。
5. 後輪を段差につけ、タイヤの回転を利用して、グリップを前方に押し上げます
6. 段差にしっかりと後輪が上がったことを確認します。



《下りの場合》

1. 被介護者に段差を下りることを伝えます。
※下りの場合は、後ろ向きで行います。
2. 後輪をゆっくりと下ろします。
3. 前輪が段差に上がったままの状態、介護者はティッピングレバーを踏み込み、前輪を浮かせた状態にします。
4. 前輪を浮かせたままの状態、ゆっくりと後ろに下がります。
5. 被介護者の足が段差にぶつからない事を確認し、ゆっくりと前輪を下ろします。

斜面での車椅子の走行

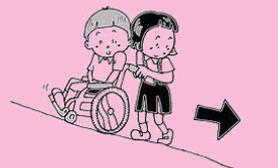
《上り坂の場合》

被介護者に上り坂を走行する事を伝えます。介護者は、車椅子が下がらない様に、しっかりと押します。この時、介護者はしっかりと脇を締め、歩幅を広げてゆっくり進みます。
※介護者は、車椅子にもたれかかる様な感じにすると押しやすくなります。

《下り坂の場合》

ゆるい下り坂の場合は、被介護者が進行方向を向いたまま進みます。介護者は、車椅子のグリップをしっかり握り、手前に引くような感じでゆっくりと進みます。

急な下り坂の場合は、後ろ向きで下る事を被介護者に伝えます。介護者は足元・後方に十分注意しながら、足を大きく広げながらゆっくりと下りていきます。



斜面や段差などの移動は、被介護者の不安や恐怖が大きくなる場所でもあります。介護者は、その点を十分に配慮しながら走行しましょう。また、1人で無理な場合は、周りに協力を求めましょう。

『介護の子カラ』ホームページより

★あわら複合ケアサービスの精神★

理念 私たちはいつもあなたのそばにいます

- 目標
- ① 自宅での介護を希望されるご家族様を応援します
 - ② 日常生活でできる活動を通して筋力低下を防ぎ、脳の活性化を図ります
 - ③ 地域に密着したサービスを提供します

